

中学校用

(令和7・8・9・10年度用)

『 調 査 資 料 』

2024年(令和6年)6月

藤沢市教科用図書採択審議委員会

目 次

国 語 (国 語)	東京書籍・三省堂	1
	教育出版・光村図書	2
国 語 (書 写)	東京書籍・三省堂	3
	教育出版・光村図書	4
社 会 (地理的分野)	東京書籍・教育出版	5
	帝国書院・日本文教出版	6
社 会 (歴史的分野)	東京書籍・教育出版	7
	帝国書院・山川出版社	8
	日本文教出版・自由社	9
	育鵬社・学び舎	10
	令和書籍	11
社 会 (公民的分野)	東京書籍・教育出版	12
	帝国書院・日本文教出版	13
	自由社・育鵬社	14
社 会 (地 図)	東京書籍・帝国書院	15
数 学 (数 学)	東京書籍・大日本図書	16
	学校図書・教育出版	17
	啓林館・数研出版	18
	日本文教出版	19
理 科 (理 科)	東京書籍・大日本図書	20
	学校図書・教育出版	21
	啓林館	22
音 楽 (一 般)	教育出版・教育芸術社	23
音 楽 (器楽合奏)	教育出版・教育芸術社	24
美 術 (美 術)	開隆堂・光村図書	25
	日本文教出版	26
保健体育 (保健体育)	東京書籍・大日本図書	27
	大修館書店・Gakken	28
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍・教育図書	29
	開隆堂	30
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍・教育図書	31
	開隆堂	32
外 国 語 (英 語)	東京書籍・開隆堂	33
	三省堂・教育出版	34
	光村図書・啓林館	35
特別の教科 道徳 (道 徳)	東京書籍・教育出版	36
	光村図書・日本文教出版	37
	Gakken・あかつき教育図書	38
	日本教科書	39

・QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

・表記は、教科書及び趣意書に書かれている表記となっています。

発行者の略称	東書	三省堂
書 名	新編 新しい国語	現代の国語
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3領域とも「てびき」で学習の見通しから振り返るまでを示すことで、何に注目して学習を振り返れば良いか、生徒が主体的に学べるような構成になっている。 ・ 3年生のデジタルコンテンツでは、自分の思いや考えを表現するための語彙を1870語掲載している。また、言語能力のポイントを「言葉の力」として明示し、汎用的に学べるよう工夫している。 ・ 「読書案内」が年間3回設定されており、テーマごとに様々な種類の本の紹介文を示すことで、読書活動の充実を促すようになっている。 ・ 1年生の古典の導入で「浦島太郎」を扱ったり、折り込みの資料を設けたりすることで、生徒が古文の学習への関心や意欲を高める工夫がされている。 ・ 「未来を考えるための9つのテーマ」を設け、学習を通して自分や社会の課題を認識できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読むこと教材の「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示したり、どのように読めば力がつくのか、読みの方略を図解で示したりすることで主体的な学びを促す工夫をしている。 ・ 各教材の「語彙を豊かに」では、文中に出てきた言葉に関連した他の例や似ている言葉などを学ぶことができ、語感を磨くための様々なテーマが設定されている。 ・ 「私が選ぶこの一文」「ビブリオバトル」「ブックトーク」といった読書活動が設定されているほか、「読書の広場」に複数の教材が配置され、生徒が興味をもって読書に親しめるような構成になっている。 ・ 1年生の「竹取物語」で絵巻物を掲載し、生徒の視覚から古典の世界へ誘う工夫がされている。また、時代背景を捉え、考えを深められるよう歴史教材に年表が付いている。 ・ 平和や環境に関する題材を取り上げ、学習を通して国際社会について考えられるような構成になっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページの右端に領域ごとにテーマカラーの帯がつけられており、活動の区切りが明確になるよう工夫されている。 ・ 資料編で、本編に掲載している古典に関連する教材を取り上げ、本編教材と併せて読むことで、作品への理解が更に深まるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵や写真を大きく配置している。誰にでも見やすく学びやすい配色で内容を視覚的に捉えることができる工夫がされている。 ・ 資料編は、約100ページで「読書」「社会生活」「参考資料」に分けて掲載しており、広い知識を身につけられるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的なテーマを示すことで、根拠を吟味しながら説得力のある文書を書くことができる学習活動が設定されており、論理的思考を育成できる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の資料や文章を元にして自分の考えをまとめ、根拠を明確にしながら文章を書くことができる内容が掲載されており、思考力を高められる構成になっている。

発行者の略称	教出	光村
書 名	伝え合う言葉 中学国語	国語
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を読み深めていくための視点 「学びナビ」が教材文の前に設けられ、生徒が学びへの明確な視点を持ち学習に取り組むとともに、主体的な学びを促す工夫をしている。 ・文章の中の情報を理解したり、語彙を豊かにしたりするための言葉や表現を「言葉・情報」として教材末に取り上げており、生徒の考えの形成に生かせる着目点が示されている。 ・単元ごとに「広がる本の世界」を設けており、約10冊ずつ紹介している。また、学校図書館を利用し、その機能の活用を図ったり読書交流を行ったりする教材により、読書活動の充実を促している。 ・1年生では親しみのある昔話「桃太郎」と古典とのつながりが導入として扱われ、生徒が古典作品の学習を通して言語文化を楽しむことができるような構成になっている。 ・SDGs教材を設け、社会や日常生活の中から課題を見つけて解決のためにできる取組について考えを深められるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3領域共通で、見通しから振り返りまでの学習の流れと学習のポイントを「学びへの扉」と「学びのカギ」として明示し、主体的な学びを促す工夫をしている。 ・各学年の「語彙を豊かに」で系統的に語感を高める方法を学び、さらに巻末の「語彙ブック」で語彙を提示し、主体的に語彙を増やすことができる構成になっている。 ・年間2か所に読書案内が設定されており、3ページにわたって複数の本を外国文学、戦争・平和など多様なジャンルごとに紹介し、読書への関心を広げる工夫をしている。 ・1年生で「竹取物語」を扱うほか、解説や観音開きの図版資料を提示し古典の世界に親しめるような工夫をしている。口語訳が本文の左に記載されて生徒にとって分かりやすい紙面構成となっている。 ・各学年の巻頭「学習の見通しをもとう」で他教科やSDGsとの関連を一覧に明示しており、教科横断的に学びを深められるよう促している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに領域や学習の重点を示すアイコンやマークがページ右上に配置されており、内容の把握が容易となる工夫が見られる。 ・巻末の見返しに『「ふるさと」を巡る』を設けており、各都道府県を代表する作家と作品を写真とともに紹介し、興味や関心を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表は色に頼ることなく形や線の種類、濃淡等で識別でき、誰にとっても見やすいものとなっている。 ・資料編には、身につけた力を確認する「学びのカギ」一覧や、書いたり読んだりするときには手がかりとなる資料を掲載し、学習理解を深められるようになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を例に自分の考えを持ち、根拠と反論を入れた説得力のある文章を書くことができるような構成になっている。また、思考の方法が図式化されており、思考力を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・領域を超えて資質・能力を活用できるよう「読むこと」と「書くこと」のバランスを考えて教材が配置されている。また「思考のレッスン」で論理的思考の基礎を学べるよう工夫されている。

発行者の略称	東書	三省堂
書 名	新編 新しい書写	現代の書写
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で課題を共有し、毛筆で確認後、再度硬筆で定着を図ることで、毛筆と硬筆の関連を意識できる構成になっている。 ・行書の特徴を理解しやすいよう、初めにポイントが短くまとめられ4つの行書の動きを生かして他の文字も書けるような工夫がされている。 ・日常の学習や生活に役立つよう、各学習内容の「生活に広げよう」や巻末の「書写活用ブック」に様々な書式の例が掲載されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現させるために「1. 見つけよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」という項目を通して、生徒に考えを促す問いを投げかけ、自ら考えることができるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆で形を捉えてから毛筆に入ること、毛筆で学んだことを、硬筆で書く際にも生かせる構成となっている。 ・行書と楷書の特徴を順番にまとめている。また、書く場所が豊富で硬筆で繰り返し書くことにより、学びが確かなものに行けるよう工夫されている。 ・「書いて身につけよう」の項目では、普段の文字に生かせるよう、多様な場面を想定し、自発的に練習できるつくりとなっている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現させるために「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」の順で見通しを立てて学習に臨み、硬筆で書いて確認できるような構成になっている。また、「振り返ろう」では学習の前後を比較できるような工夫がされている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な単語やポイントを太字にして、必要な情報が理解しやすくなるようにつくりとなっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっており、行書では注意点や筆順が色や数字で分かりやすくなるよう示されている。 ・生活に関わる写真が掲載されており、実生活でどのように使われているか生徒が理解しやすくなる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のポイントや学習すべき内容と、実際に書く文字のフォントが区別しやすいように分けられている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっている。また、学ぶページと書き込むページがわかりやすくなるよう色分けされている。 ・資料の写真が、掲載のねらいが伝わりやすくなるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから毛筆教材の運筆動画等を確認できる。 ・1年で「身につける」2年で「使い分ける」3年で「使いこなす」という段階が明示されており、学年ごとに何を学ぶのかわかりやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き方のコツが簡潔に矢印で示されており、課題が明確に表現されている。また、二次元コードから詳しい説明を確認できる。 ・説明のページと書くページが分かれており、構成が分かりやすく示されている。

発行者の略称	教出	光村
書 名	中学書写	中学書写
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「硬筆での試し書き→毛筆→硬筆」の構成となっており、毛筆の学びを硬筆に生かせるようになっている。 ・朱筆で書いた写真により、筆脈が視覚的に分かりやすく示されており、行書特有の筆使いの習得が図れるようになっている。また、「気づき」や「まとめ」を書く欄があり、身についた能力を確認できるような構成になっている。 ・日常生活に生きてはたらく書写力を育み、主体的な文字の使い手になるような構成になっている。 ・生徒が自分の課題を解決していくためのヒントとして「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう」という段階が設けられており、主体的・対話的で深い学びを実現させるような工夫がされている。また、話し合い活動や気づいたことをメモする欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆と同じ学習要素をもつ硬筆課題が豊富に設定されており、毛筆での学びを硬筆へと生かせるようなつくりになっている。 ・行書の学習の初めに、行書の特徴を4色の行書スイッチとして示し、生徒が主体的に学ぶきっかけを作っている。また、行書の特徴を確認しながら練習できるような工夫がされている。 ・学校生活や日常生活に紐づけた題材が設定されており、書写の基礎基本を身につけられる構成となっている。また、別冊があることによって、繰り返し練習することができるようになっている。 ・「1. 考えよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」という段階を設けることで、生徒が見通しをもち、主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がされている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行間や空間に余裕があり、文字が見やすくなっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっているとともに、朱筆の手本による筆脈の動きを分かりやすく図示してある。また、毛筆と硬筆が見開きで学習できるつくりになっている。 ・半紙形の紙面が教材文字のみになっており、取り組みやすいつくりになっている。後半は説明やコラムの写真資料が豊富で、わかりやすくなるようなつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて色やフォントを使い分けており、生徒が見やすくなるような構成となっている。 ・多くのページで教科書の向きを変えずに手本が見えるような構成になっているとともに、毛筆の手本は見開きを使って大きく示されており、実物大で練習しやすいよう工夫がされている。 ・情報が伝わりやすくなるような資料の配置になっている。後半には漫画が挿入されていたり資料として写真が多く掲載されていたりするなど、視覚的な工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目次に二次元コードがあり、毛筆教材の運筆動画やワークシートなど学習に役立つ情報が豊富に用意されている。 ・「試し書き」と「まとめ書き」の欄があり、学習前後の比較、振り返りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの二次元コードを開くと動画が斜めから撮られており、筆使いを確認できる工夫がされている。 ・別冊では硬筆を主に扱い、本冊は毛筆に重点を置くことで、学習を進めやすい構成になっている。

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい社会 地理	中学社会 地理 地域にまなぶ
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理を学ぶ5つのミカタ」を示し、地理的な見方・考え方が働くように工夫され、各学習内容やまとめではマークで視点を例示している。 ・「みんなでチャレンジ」で主体的・対話的な活動を行い、多様な意見にふれながら多面的・多角的に考察ができるような工夫がある。 ・持続可能な社会の実現を意識できるよう全体を5つのテーマで貫き、「未来にアクセス」や「もっと知りたい」を設け、より広い視点で学習課題に迫れるような工夫がある。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本が有効に支配しているため領土問題はないと明記されている。 ・各単元の導入部に小学校の既習内容を振り返るページが設定され、オリジナルのQRコンテンツで既習事項や関連事項を確認できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地理的な見方・考え方」を5つ示し、学習内容ごとに地理的な見方・考え方が身につくような「学習課題」を提示している。 ・各章や編の「学習のまとめと表現」で多面的・多角的な考察を促す問いや、グループでの対話的な活動ができるような課題がある。 ・持続可能な社会の実現を視点に学習できるよう、特設ページ「クロスロード」を設けるほか、「地理の窓」のコラムで、人権尊重や多文化共生の内容もあるなど、視点を変えて課題に迫れるような工夫がある。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土であり、日本が領有し、有効に支配を続けてきたと明記されている。 ・地理・歴史・公民の学習の連携を意識できるよう巻頭で相互の関係を示し、頁の下部には、学習内容と関連する他分野の学習が示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい用語を解説する「もっと解説」のコーナーに加え、巻末に用語解説がまとめて掲載され、QRコンテンツ「社会科用語マスター」においても詳しく解説されている。 ・小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・側注解説により、本文の記述や言葉を補足し、詳しく解説したものが記されており、巻末にも用語の解説が豊富に掲載されている。 ・文章は、中学生の発達段階を考慮した、平易な表現になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、単元学習を予習・復習できるコンテンツ、ワークシート、映像資料にアクセスし、学習に活用できるような工夫がある。 ・学習の流れが可視化され、単元を貫く「探究課題」を立て、それを解決するために必要な学習プロセスがわかるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、「役立つリンク集」や動画、クイズにアクセスし、学習に活用できるよう工夫されている。 ・見開きごとに「学習課題」と、それに対応する「確認!」「表現!」を設け、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

発行者の略称	帝国	日文
書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地理的な見方・考え方」を5つ示し、見方・考え方を働かせながら章や節を貫く問いの解決に向けて取り組めるよう1単位時間ごとに問いを示すとともに、毎時の学習課題が設定されている。 ・各章や節末の「学習を振り返ろう」では、個人やグループで多面的・多角的に考察し、表現する活動がある。 ・持続可能な社会に向けた行動を促す工夫として、特設ページと本文ページに「未来に向けて」のコラムを設け、未来の社会をつくるための具体的な取組を確認しながら、学習課題に取り組めるよう工夫がある。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土であり、解決すべき領有をめぐる問題はないと明記されている。 ・見開き頁の下部に小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材に関連を示し、既習事項をふまえて学習できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地理的な見方・考え方」がイラストを用いて解説され、1単位時間ごとに見方・考え方を使った問いが設けられている。 ・章や節の導入で問いとともに、地域学習では、自ら問いを立てる学習が設定され、章末や節末の「学び合い」には、主体的・対話的な活動を通して、多面的・多角的に考察を促す学習課題がある。 ・持続可能な社会について考えることができるよう、巻頭に「持続可能な社会と私たち」、地域学習で「持続可能な地域をめざして」のコラムなど、教科書全体を通して教材が扱われている。 ・北方領土および竹島に関しては、不法に占拠、尖閣諸島については、日本固有の領土として管理されてきており、領土問題は存在していないと明記されている。 ・頁下部に小学校や、他分野との学習の関連を示したコーナーを設け、既習事項や他分野に関連する事項を確認、活用できるようにしている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい用語について、見開きページ内に「解説」が設けられ、学習しているページを開いたまま確認できるよう工夫がある。 ・重要語句を示すゴシック体で記された用語にはルビがふられ、見やすさにも工夫が施されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい語句の解説が、巻末の「用語解説」にまとめて記載されている。 ・小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、すべての重要語句にルビを付けて、読み取りやすい工夫がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードから学習内容とリンクした動画、スライド、ワークシートの利用ができ、学習の定着を図る工夫がされている。 ・「学習を振り返ろう」では、問いの解決に向けて必要な「見方・考え方」が示され、学習の参考にできるよう工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、動画や確認テスト、確認小テストなどのコンテンツの利用ができ、生徒の個別学習に対応できる工夫がある。 ・学習の見通しをもてるよう「章・節の問い」、毎時の「学習課題」を章末等の「まとめとふり返り」が設定されている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野

NO. 1

発行者の略称	東書	教出
書名	新編 新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題解決的な学習のために必要な技能を身につけられる活動コーナーが多数取り入れられている。 ・「みんなでチャレンジ」では、対話的活動を促すコーナーを設け、多様な意見に触れながら考察できるようになっている。 ・現代的な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで捉え、持続可能な社会の形成を意識しながら学習を進められるようになっている。 ・本文に加え、特設ページなどで、同和問題や、アイヌ民族、琉球王国の歴史等について扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるよう工夫されている。 ・各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けて、小・中の学習のつながりが円滑となるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・章の最後に「学習のまとめと表現」を設け、基礎基本の定着を図るとともに、歴史的な見方・考え方を働かせられるよう考察し、表現する学習活動が設けられている。 ・特設ページで、視点を変えて捉え直すテーマを設定し、生徒にとって身近な話題と照らし合わせることで、多面的・多角的に考察できるようになっている。 ・特設ページにSDGsの目標と関わりが深い学習内容についてマークを配すほかに、「歴史学習の終わりに」で、これまでの学習を生かして現代の課題についてSDGsの視点から問いを立て調査・考察、発表・交流する活動を取り上げている。 ・沖縄と北海道の歴史について調べ学習ができる構成となっており、人権尊重・多文化共生に向けた意識を高められるよう工夫されている。 ・小学校で学習した人物にマークを配したり、そのページの学習内容と関わりのある他分野の学習内容を示したりしている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・紙面でもデジタル画面でもユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍聖絵」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載されており、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・QRコンテンツを用いて、既習事項の振り返り、動画視聴など、個人に合わせた学習ができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載されており、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・二次元コードからコンテンツの種類（リンク、動画、クイズ）がマークで表示されており、視覚的な工夫がされている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 2

発行者の略称	帝国	山川
書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界 改訂版
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 教科・種目別の 観点	<ul style="list-style-type: none"> 各時代のはじめに「タイムトラベル」を設け、イラストの読み解きや「見方・考え方」を働かせる活動を通して、生徒が学習する時代の見通しを立てられるような工夫がされている。 「地域史」や「歴史を探ろう」などのコーナーで、具体的なテーマを設定し、様々な視点から考察し社会の多様性を認める態度の育成を図ることができるよう工夫されている。 「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6つのテーマで持続可能な社会の視点を養う「未来に向けて」を設け、より良い未来を創造するための知識と態度を育める配慮がされている。 より良い未来を創造するために人権などに関するコラムを設け、生命や個人の価値を尊ぶ態度を養えるよう工夫されている。 「小・地・公の関連アイコン」などを示すことで、既習事項を踏まえて物事を多面的・多角的に捉えることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 因果関係を重視した本文の記述に加え、写真や図絵、資料などに多くの発問を設けることで、歴史的な見方・考え方が身に付けられるようなつくりになっている。 「ステップアップ」や「章のまとめ」に、様々な立場や出来事から多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 世界と日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を踏まえた叙述になっており、グローバル化が急速に進む社会を生きる生徒を育てる工夫がされている。 男性中心に偏りがちな歴史における女性の活躍が学び取れるよう、女性を取り上げた人物コラムを設け、男女の平等を重んずる配慮がなされている。 第1章1節で小学校で学習する人物を取り上げ、第5章以降で「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込むなど、小・中・高の円滑な接続ができるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> A B版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市清浄光寺を掲載するほか、参勤交代の道のに藤沢の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 学習内容の習得や調べ学習を支援するQRコンテンツが掲載され、生徒の個別最適な学びを支援するようにつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺が掲載され、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 二次元コードを用いて、画像を拡大して見たり、動画で理解を深めることができるようになっている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野

NO. 3

発行者の略称	日 文	自 由 社
書 名	中学社会 歴史的分野	新しい歴史教科書
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 教科・種目別の 観点	<ul style="list-style-type: none"> ・本文ページに「見方・考え方」コーナーが毎時間設けられており、学習課題の解決に向けての手掛かりとなるような工夫がされている。 ・「チャレンジ歴史」では、複数の資料を用いて、考えたり、対話したりするなど、多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 ・「先人に学ぶ」や「チャレンジ歴史」をはじめとしたコラムや特設ページ等を設けるなど、現代的な諸課題について歴史的・国際的な視点を踏まえて学習に取り組めるよう工夫されている。 ・本文ページのほかに、「歴史を掘り下げる」で、現代に続く課題の歴史的背景から今日までの取組を学ぶことができる教材を掲載している。 ・命の尊さや伝統・文化などをテーマに据えたコラム「先人に学ぶ」などを設置して、道徳教育との関連を充実させるなどの工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末に時代の特徴を考えるページを設けて、時代を比較するなど、歴史的な見方・考え方を働かせる学習ができるよう工夫されている。 ・「外目の目から見た日本」など外国人から見た日本や日本人の姿を取り上げ、外からの客観的視点から多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・他国、他民族を尊重するなど国際友好の大切さを感じることが出来るコラムを掲載している。 ・近代日本女性の教育に生涯を支えた人物を取り上げ、外国人の客観的視点から、日本社会で日本の女性が高い尊敬を受けていることを紹介するなどの工夫がされている。 ・各章の「登場人物の紹介コーナー」の年表を使って小学校での既習事項や人物の確認ができるなど、小学校での学習事項との接続に配慮している。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに基づく配色をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A B版である。 ・本文の文体を、親しみやすい「です・ます」体になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、藤沢市清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・QRコンテンツを使用することで、各自の学習進度に合わせた教材を選択できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一遍上人絵伝」「一遍」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・各章末に復習問題ページを設けて、基本事項の定着をはかるための工夫がされている。

調 査 資 料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 4

発行者の略称	育鵬社	学び舎
書 名	新しい日本の歴史	ともに学ぶ人間の歴史
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「年代や時代区分の表し方」、「歴史的な見方・考え方を働かせる」で時代や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりといった歴史学習に必要な「社会的事象の歴史的な見方・考え方」の具体例を挙げて説明している。 各章末に「学習のまとめ」を設け、各時代の人物や生活、文化などについての資料を複数掲載することで、多面的・多角的な視点で考察が深められるようになっている。 現代社会における日本や世界の諸課題において、日本の果たすべき役割を考える課題を設定するなどの工夫がされている。 主体的に社会の形成に参画できるよう、男女の平等、自他の敬愛と協力など、先人の取り組みの資料やコラムを掲載している。 「歴史の流れと先人の活躍」で小学校で学んだ歴史上の人物について、いつの時代にどのような活躍をしたか確認できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の章のはじめに、各地域の生活や世界のつながりを視覚的にとらえられるようにし、生徒の課題意識を育成できるよう学習課題を明示し多面的・多角的に考えられるような工夫がされている。 章末に学習のまとめなどを設けて、推移に着目し、歴史的な見方・考え方を働かせる学習ができるような工夫がされている。 世界史教材を多く設定することで、共存や連帯の意識を生み出し、自国や地域を主体的に認識しようとする姿勢を育む配慮がされている。 女性の生きる姿や沖縄、アイヌの人びとの取組を具体化するなど、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を培う工夫がされている。 「歴史を楽しく学ぼう」で小学校の学習をふりかえり、調べ学習の方法を体得できるような構成になっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B 版である。 ユニバーサルデザインフォントを使用し、多くの生徒にとって見分けやすいよう配色にも配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> A 4 版である。 地図やグラフをカラーユニバーサルデザインに基づく配色にしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍上人絵伝」「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 各章の導入にある二次元コードを用いて、学習内容に関連した動画視聴、情報収集をして、自主学習ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一遍聖絵」の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 生徒が問いや疑問をもてるよう、興味のわくタイトル、関心を引き出す学習課題が設定されている。

調査資料

教科：社会

種目：歴史的分野 NO. 5

発行者の略称	令書	
書名	国史教科書 第7版	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「国史を学ぶにあたって」で、歴史的な見方・考え方を働かせるための視点として、年代と時系列、推移、比較、関連、現在とのつながりについて説明されている。 ・歴史上の様々な事象に疑問を持ち、自ら探究できるきっかけとなるコラムを、多数配置する工夫がされている。 ・持続可能な社会の実現のために、国際社会における日本の役割についての学習課題を設けるほか、他国との助け合いの歴史を記述し、国際的な相互理解の重要性に気付かせるような工夫がされている。 ・アイヌ文化を紹介したり、明治・大正期の沖縄や北海道を、年表をつけて紹介したりするなど、人権尊重・多文化共生へ配慮した構成となっている。 ・「歴史カードを作ってみよう」で、小学校で学んだ学習の振り返りとして、人物と文化について、調べ学習をする構成になっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A5版である。 ・縦書きで表記されていることで、読書をするように読むことができる構成になっている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・一遍の中心寺院や「後醍醐天皇」の肖像画の所蔵場所として、本市にある清浄光寺の記載があり、地域の歴史への関心を高めさせるものとなっている。 ・二次元コードで、漫画『承久の乱』を読むことができるようになっている。 	

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の「探究のステップ」で探究課題の解決を助ける問いが設定され、課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を育む工夫がなされている。 ・選挙権年齢と成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れや契約における注意点を理解できる「18歳へのステップ」を設け、主権者意識を高める工夫がされている。 ・「ちがいのちがい」で身近な事例から人権が守られる社会を創るために、どのように社会に関わるか考えられるよう工夫されている。また、持続可能な社会の実現に向けて「人権・平和」などの多様な側面から考えられるよう工夫されている。 ・領土をめぐる問題やパレスチナ問題と中東和平、沖縄復帰50周年など平和に関する課題を複数掲載し、国際平和のために解決すべき課題を考えられるよう工夫されている。 ・各章の始まりで、小学校で学習した語句や写真が掲載され、章末の「もっと知りたい」で関連する教科、分野、ページが表記されるなど、学習内容と関連付けて考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して課題解決的に学習を進められるよう、追究する問いを明示し単元の終わりにはまとめのページを設け、思考力・判断力・表現力を培いながら多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・選挙制度や消費者の権利と責任などについて理解を深め、18歳に向けて社会に参画していく意識が高められるよう工夫されている。 ・日本における人権をめぐる課題や解消に向けた取組を紹介している。また小学校での学習や他教科、SDGsなどを軸に学習が展開できるように工夫されている。 ・領土問題のほか、特設テーマを設け、その中で異常気象、戦争や紛争の今日的な課題などを扱い、平和的解決に向け主体的に考えられるように工夫されている。 ・章の冒頭で、給食を例に挙げたり、欄外に小学校6年生の学習とのつながりを設けたりするなど、身近な事例から主体的に考えられるような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの単元を見開き2ページでおさめ、学習計画が立てやすくなるよう工夫されている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、グラフや地図などで配色に配慮し、誰もが学習しやすくなるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで1単位時間を原則としており、整理・考察しやすい分量や配分になっている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文や資料をフォントやポイントの違いで区分するなど、視認性が高まるよう配慮をしている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての単元にQRコンテンツが掲載され、導入・展開・まとめなど授業内で活用できるようになっている。 ・「探究課題」、「探究のステップ」、「学習課題」の3段階の問いが学習の流れを可視化し、考えを整理、表現できる構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから各種コンテンツにアクセスし、学習に活用できるようになっている。 ・「学習課題」、「確認」、「表現」を設け1時間ごとの追究課題を提示し、自分の言葉で表現できるよう構成されている。

発行者の略称	帝国	日文
書 名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブ公民」を設け、様々な立場を踏まえて議論を進め合意形成を目指す活動を通じ、現代社会の見方・考え方を働かせ課題に取り組めるよう工夫されている。 ・特設ページ「18歳への準備」で、18歳に向けて身につけたいメディアリテラシー、契約、ライフプラン、金利などの実践的な知識や技能を習得し、主権者として社会参画を促す工夫がされている。 ・人権に関する中学生の作文や、差別をなくす様々な取組の事例を通じ、「個人の尊重」の重要性が理解できるよう工夫されている。また、巻頭でSDGsの目標と実現に向けた各地の取組を紹介し、本文では持続可能な社会に向けて主体性を養えるよう工夫している。 ・「領土をめぐる取り組み」のほか、ロシアによるウクライナ侵攻を掲載し、紛争の背景と平和構築の課題について考えられるよう工夫されている。 ・部の冒頭とページ下部に小学校、他分野、他教科との関連事項が記載され学びのつながりを図る工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティを設けるなど、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう見方・考え方を働かせて学ぶことができる工夫がされている。 ・「明日に向かって」のコーナーで契約やキャリア教育など18歳成人に関わる内容を取り上げ、主体的に社会に参画する意識が高められるような工夫がされている。 ・人権について、従来及び現代における様々な課題が掲載され、点字加工ページを設け実物に触れられるなど、具体的に捉えられるよう工夫されている。また、巻頭や本文ページで、持続可能な開発目標に関わる現代的な課題を考えられるよう工夫されている。 ・「日本の領土をめぐる問題」や、コラムで「パレスチナ問題」、「ロシアによるウクライナ侵攻」、写真で「アメリカ同時多発テロ」、「シリアの紛争」など平和について考える学習課題や資料を取り上げている。 ・章の冒頭に「小学校で学習した内容」が掲載され、学びのつながりを図る工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1見開き1時間での授業を原則とし、学習計画を立てやすくなるよう工夫されている。 ・図版に背景色や囲み線を入れることや、ユニバーサルデザインフォントを採用し、重要語句を示すゴシック体の太さやルビを工夫するなどの配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1授業時間を見開き2ページでまとめ、授業計画が立てやすくなるよう工夫している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、小学6年生以上で学習する漢字の初出箇所などにルビを付けるなど工夫されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツを活用することで、主体的に学習内容を深めることができるよう工夫されている。 ・章・節の冒頭で問いを示し、末尾に課題を設けることで学習の見通しと振り返りができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツを活用することで、各自の進め方に合わせて学ぶことができるよう工夫がされている。 ・章・節の単元を貫く問いを示し、まとめと振り返りで章の問いを改めて考えられるよう工夫されている。

発行者の略称	自由社	育鵬社
書 名	新しい公民教科書	新しいみんなの公民
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブに深めよう」で、課題について生徒同士で話し合う活動が設定されており、主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 ・本文中の主権者としての学習のほか、「もっと知りたい」では「選挙制度と政治参加」が設けられ、選挙制度と政治の関係についての課題が記載されている。 ・人間の尊重について、基本的人権を中心に深め、「もっと知りたい」では「権利の平等に関する問題」など、発展的に学習ができるよう工夫がされている。また、学んだことをいかして持続可能な日本と世界が形成されるよう「課題の探求」などで学習が深められるよう工夫されている。 ・領土問題や拉致問題等を扱ったり、ウクライナ紛争、パレスチナ問題など世界の対立・紛争地域を紹介したりするなど、世界平和について学ぶことができるよう工夫されている。 ・働くこと及び「職業」の意味について理解できるようにするなど説明が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」で、学習した知識をもとに複数人で意見交換しながら課題解決について考えることができるよう工夫されている。 ・章末の「これから」を考えるワークシートで、主権者として未来の姿を構想できるよう工夫されている。 ・「憲法の入り口」のコーナーを設け、基本的人権に関する憲法の条文と現代社会の事例を照らし合わせ、人権を尊重するために憲法がどのように保障しているかを考える工夫がされている。また、持続可能な社会の形成について、教材を紹介するなど、生徒自身が考えられるよう工夫されている。 ・「拉致問題と私たち」、「日本の領土をめぐる問題」を大きなコラムで特集し、日本人としてどの様に向き合っていくかをキャラクターが発問するなど、互いの利益が一致しない中でどの様に共存していくかを考える工夫がされている。 ・章の入り口でキーワードの語群と写真を掲載し、小学校の学習を振り返り、これまでの学習とのつながりを意識できるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・1授業時間で見開き2ページ程度でまとめられている。 ・各単元の重要語句はゴシック体の太字になっており、大事な語句を意識できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのテーマについての学習内容が1授業時間で見開き2ページにまとめられている。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用し、ふりがなにゴシック体を用い、読みやすくなるよう工夫されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の探求などで、インターネットを活用して情報を収集することなどが記されている。 ・「やってみよう」や各章末の「学習のまとめと発展」で学習が深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで学習内容に関する動画を閲覧でき、より理解が深まるよう工夫されている。 ・「課題」「確認」「探究」を設け、学習内容の見通しとこれまでの学習を深められるよう工夫されている。

調 査 資 料

教科： 社会 種目： 地図 NO. 1

発行者の略称	東書	帝国
書 名	新編 新しい社会 地図	中学校社会科地図
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特徴を捉える上で必要な主題図だけでなく、グラフ等も複数の資料を組み合わせ掲載されており、生徒が多面的・多角的に考察できるような構成になっている。 ・日本の統計の人口構成割合や産業別割合がグラフ化されており、生徒にとって視覚的にわかりやすい構成になっている。 ・断面図を掲載している地点が線で示されており、生徒が高低差等の地形がイメージしやすくなる工夫がなされている。 ・日本の自然災害や防災施設の例、ハザードマップを掲載する等し、様々な災害や防災への取組を学べるよう構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な主題図が掲載されており、各図の要素を比較していくことで、思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。 ・グラフのタイトルにイラストを併設する等、どの生徒にとっても視覚的に分かり易い工夫がなされている。 ・主題図と鳥瞰図を併設する等、生活・文化・産業等、様々な特色が視覚的に読み取れ、生徒の興味・関心を高め、地理的な見方・考え方を身に付けられるよう工夫されている。 ・日本の自然災害について日本列島周辺の地形と関連付けて掲載され、災害と防災に関する主題図を掲載し、防災への意識を高められるよう工夫されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料が新旧の比較ができるよう配置されており、多面的・多角的に考察できるような工夫がされている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用したり、グラフや地図等では、文字に縁どりを出したりする等、情報を読み取りやすくする工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料は、生徒が既存の知識で理解できるものや新しい学びにつながるもの等が掲載されており、興味・関心を引き立てるような構成になっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、地図帳の国名や都市名は赤字を白字で縁どり、識別しやすくする工夫がなされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道路線が詳しく記載されているため、東京通勤圏である藤沢の位置や交通の便について理解しやすい構成になっている。 ・日本列島を見開きで確認することができ、北海道から沖縄までを別枠にすることなく、見ることができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢周辺の交通の便や東京近郊の市街地の広がりを理解しやすいよう構成されている。 ・日本列島全体を4ページにかけて掲載することにより、南西諸島を細部にわたって読み取ることができるようになっている。

発行者の略称	東 書	大日本
書 名	新編 新しい数学	数学の世界
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見や解決の過程を意図した「深い学びのページ」がほぼ全ての章に設けられ、論理的に考察し、考えを表現する機会が多く設けられている。 単元を貫く題材の設定がしてあり、ストーリー性のある題材構成で学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解決したり、さらに深めたりできるようにしている。 「深い学びのページ」を中心に、日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決の過程に沿った活動が多く、数学と生活が密接な関係であるということを学ぶことができるような構成になっている。 導入をアニメーションで表現した動画や関数領域、図形領域を中心に考察を深めるためのシミュレーションなどのデジタルコンテンツが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章や節の導入では、様々な問いを設けることで問題発見・解決の流れを意識できるつくりになっており、その中で、論理的に考察する力と考えを表現する力が身につくよう工夫がされている。 問題発見・問題解決の流れを示した活動では、自ら問題を見だし、解決の方法を考えて実行し、振り返ることができるような構成になっている。 「発見！仕事のなかの数学」では、実社会で活躍する人物による数学の活用を紹介し、自らの学習と職業及び日常生活との関連を重視できるようにしている。 ウェブコンテンツを使って学習を深めることができる場面にマークがついている。また、数学の世界を広げる読み物をさらに詳しく紹介するウェブコンテンツなどが用意されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 節ごとに「基本の問題」があり、「補充の問題」では、少し難しい問題も扱いながら、段階的に力が身につくような構成になっている。 カラーユニバーサルデザインにより、色彩に配慮されたデザインになっている。 吹き出しや補助発問に「同じように考えると」や「それなら」という文言をつけ、学びのつながりを生徒が意識できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適用問題「Q」を補充するため、適宜「プラス・ワン」を付属させ、習熟度に応じて取り組める構成になっている。 重要な部分を強調するレイアウトの工夫や、ユニバーサルデザインフォントの使用により、読みやすさに配慮がある。 使用する文字の大きさや表現方法を1年と2、3年で変えており、小学校・高校との円滑な接続を図れるよう配慮されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」「ふり返る」「深める」の過程と、問題解決の進め方の例が明示されている。 「学び方のページ」では問題解決の進め方を意識し、「深い学びのページ」統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「伝えよう」では、数学の言葉や図などを使って、数学的に表現する力を養えるような構成になっている。 めあてをはっきりさせており、「活動」→「例」→「例題」→「Q」を適切に配置し、流れをわかりやすく示している。

発行者の略称	学 図	教 出
書 名	中 学 校 数 学	中 学 数 学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学的活動のページ」では、数学の学習過程のイメージを具現化し、1つの課題に対する問題発見から解決までの過程が見える構成になっており、深い学びにつながるような工夫がされている。 ・「Q」では、解決方法を予想したり話し合ったりしながら学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるように工夫されている。 ・「深めよう」や「さらなる数へ」、「T e a B r e a k」、「数学へのいざない」など、学習したことを活用したり、深めたり、数学の世界が広がるよう工夫されている。 ・デジタルコンテンツがあることを視覚的にわかりやすく判別できるようになっている。また、それぞれのデジタルコンテンツがどのような内容なのかがわかるように言葉で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を活用する場面で「問題を見いだす→問題をつかむ→見通しを立てる→問題を解決する→振り返る→深める」といった学びのプロセスを示し、問題発見・解決の過程を意識できるよう工夫されている。 ・問いを持って学習を進められるよう、本文は「学習過程で生じる生徒の疑問→学習してわかったこと→新たな疑問」というつくりになっている。 ・「章とびら」では実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学に関わる話題を取り上げ、数学を学ぶことの必要性が感じられるようになっている。 ・デジタルコンテンツ「まなびリンク」が用意されている。動的・立体的な表現や実験映像などを見ることができるアニメーションや映像、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションなどがある。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・「計算力を高めよう」では家庭学習や計算練習で活用できるようにつくりになっており、取り組みやすい内容・分量となっている。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れるほか、章ごとに青とオレンジの2色で分けられていて、ページが見分けやすく、「Q」の見出しも探しやすいようにつくりになっている。 ・「ふりかえり」のページがあり、小学校の内容を復習し、スムーズに学習に入れるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「例（例題）」と「問」の間に「例（例題）」に類似した問題である「たしかめ」を設けており、段階を踏んで取り組めるようにつくりになっている。 ・章とびらでは、見やすさ、読みやすさに配慮し、ユニバーサルデザインを取り入れ、歴史的な写真や身近な風景を大きく掲載することで、数学を身近に感じることができるようにつくりになっている。 ・「○章を学習する前に」や「もどって確認」などで、適宜小学校の既習内容を振り返ることができる構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」の数学的活動の例では、問題解決に向けて見通しを立てて論理的に考察できるように示している。 ・生徒どうしの話し合いにより協働的な学習を促すような工夫がみられ、新たな問題の提示により深い学びつなげられる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのプロセスページ」を設け、問題発見・解決の過程を生徒が意識できるよう工夫されている。 ・各章の終わりを「学習のまとめ→たしかめよう→力をのばそう→学んだことを活用しよう」という構成にすることで、基礎基本を確認しながら学習を深めることができるようになっている。

発行者の略称	啓林館	数研
書 名	未来へひろがる数学	これからの 数学
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ方式の「〇〇の利用問題」では、解決の過程を振り返り、新たに発生した疑問とそれを数学の問題として設定した「深める例」を示すことで、考えを深められるような工夫がされている。 ・単元末の「〇章のあしあと」では、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面があり、生徒が自らの学びの深さを確認して次の学びに進むことができるようにしている。 ・すべての節の先頭にある「節のとびら」では、その節の学習を進めれば解決できる身のまわりの問題を取り上げ、学ぶ楽しさや意義を実感できるようになっている。 ・動画など動きをともなって学習内容の理解を助けるコンテンツや節の導入の場面理解や数学的活動をサポートするコンテンツ、自学の際に役立つ問題の考え方や解説動画が用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話形式で掲載される題材が多く、「同じように考える」、「具体的な数で考える」といった考え方を何度も示すことで、自然と数学的な見方・考え方が身につくようになっている。 ・「Q」や「TRY」といった数学的活動の中で、キャラクターの対話をきっかけに、授業の中で生徒の深い学びに繋がる問いを投げかけることができるようになっている。 ・「やってみよう」や「TRY」では数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題や、社会とのつながりを連想させる話題を通じて、数学の有用性を感じられる構成になっている。 ・補充・イメージ・資料・考察・探究の5種類のコンテンツがあり、生徒の特性や習熟度に応じた個別最適な学びの実現をサポートできている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・「例」や「例題」では、基礎・基本を含めた複数の問題が掲載されており、取り組みやすい構成になっている。また「例」や「例題」の直後には、それにならって解くことができる「問」も配置されている。 ・UDフォントを使用し、誰もが読みやすいようにしているほか、章の導入では、見開き左側に課題の場面設定、右側に解決の手立てがあるため見通しを立てて考えやすい。 ・既習事項と関連する箇所に「ふりかえり」があるため確認しやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「確認問題」や「問題A」「問題B」など、教科書の内容を補充できる問題を豊富に掲載している。 ・ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人々が利用しやすいように配慮している他、グラフや図をかく問題では、小口（本の外側）に図を配置して扱いやすい。 ・1年生では問いかけ文を、「〇〇しましょう」という表現を用い、中学校の学習への接続が円滑になるような配慮がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ方式」を導入し、数学的な問題発見・解決の過程を意識できるようにしている。 ・「〇〇の利用」の節では、学んだ数学を利用して、その問題を解決する力が育まれるようにつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「TRY」のコーナーでは「方法の説明」などを設け、伝え合う力が高まるようになっている。 ・「やってみよう」「調べよう」など活動的な課題を設け、興味・関心に応じて学びを深めることができるようになっている。

発行者の略称	日文	
書名	中学数学	
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを振り返る活動を重視し、生徒の変容を捉えることができるよう工夫されている。また、巻末に「振り返りシート」が用意されており、学びを深められるような工夫がされている。 ・問題解決型の授業展開を明示した小節である「学び合おう」には、話し合いを通して学びを深めていくための「対話シート」が用意されている。 ・「数学のたんけん」や巻末の「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」、「数学研究室」、「プログラムと数学」など、数学が活用されていることを知ることのできる構成になっている。 ・理解を助けるアニメーションや動画、考察を深めるシミュレーションなどが用意されている。初見の生徒でも迷わず扱うことができるよう、操作しやすいような画面表示となっている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本の問題」「章の問題」「とりくんでみよう」を設け、幅広く多彩な問題が掲載されている。 ・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しているほか、色だけで情報を伝えないように、線の種類を変えたり、文字や形などの情報を付加したりしている。 ・「めあて」では「○○しよう」「○○になろう」の表現で、本時の目標に向けて、意欲的に取り組めるよう配慮されている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「説明できるかな？」を設け、「理由」や「方法・手順」などを数学的な表現で説明する力を養えるようにしている。 ・写真やイラストを使った楽しい巻頭見返しや章の扉により、興味を引き付け、疑問を解決につなげられるようになっている。 	

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新編 新しい科学	理科の世界
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 『「探究」の流れを確認しよう』で探究のステップを示し、誰もが探究的な学習に取り組めるようにすることで、学習の流れやポイントが「見える化」できるようになりつつある。 「学びを生活や社会に広げよう」や「社会につながる科学」等では、学びを生活や社会に広げるページを設定し、身のまわりの生活や他教科とのつながりを意識できるようになりつつある。 ファシリテーターキャラクターを配することで、理科の見方・考え方が見えるように工夫されている。 「理科室の決まり」が巻頭や巻末に掲載されている。「観察・実験」ごとに注意マークが表示され、特に注意する点は、朱書きで分かりやすいように示されている。 ICTの活用ができるように「二次元コード」を付し、科学的な概念形成などつまづきやすい内容には、シミュレーションを用意するほか、巻末にはデジタルコンテンツの活用法がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるよう、巻頭の「理科の学習の進め方」や巻末の「探究の進め方」のページで、探究の過程を具体的な課題をもとに示している。 「つながる×Science Press」では、単元での学習内容が他分野や他教科へとつながる内容となっている。 「探究活動」で、これまでの学習で身につけた見方・考え方を使い新たな問題を解決することにより、さらに学びが深くなるよう構成されている。 「理科室のきまり」、「基本操作」では、安全に実験できるための注意事項や器具の基本操作がまとめてある。器具によっては、操作方法の動画のコンテンツも用意されている。 動画やウェブに繋がる「二次元コード」が対応するページに掲載されており、学習内容を確認できる作りになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本文の側注幅を第1学年よりも小さくすることで、文章の情報量を増やし、文章による理解が図れるレイアウトになっている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年の本文資料は2、3年よりも大きな文字を採用して、小学校からの接続に配慮された作りになっている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 横浜ベイブリッジや横浜市の火力発電所、小田原市の露頭の写真が教材として掲載されている。 身近にみられる教材が大きく掲載されており、探究的な学習のサポートとしてQRコンテンツが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 江の島や横浜港、よこはまブルーシアが理科に関する身近な施設として掲載されている。 「くらしの中の理科」では、身のまわりと関連があるもの、科学への興味・関心をもてるようなものが掲載されている。

発行者の略称	学 区	教 出
書 名	中学校 科学	自然の探究 中学理科
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究のページ」には、科学的探究の過程を分解して示すことで、探究の進め方を理解しやすくなるようまとめている。 ・学習内容が日常生活に生かされている例を紹介する等、日常生活が科学の知識と考え方によって成り立っていることや社会に役立っていることが実感できるような構成になっている。 ・探究の考え方を説明するコラム「理路整然」を掲載し、どのようにその考えが日常に役立っているか等、科学的な考え方の理解につながるようなつくりとなっている。 ・巻末に理科室の使い方やガスバーナー等の基本操作が提示されており、各実験のページには黄色と赤色を用いて注意すべきことが示されている。 ・各ページのQRコードからアクセスできる「ミライ教科書」で、動画や基礎問題、最新版に更新される科学ニュース等が利用でき、生徒がICT機器を活用して学習を進めることができる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の進め方」を折り込みで設け、本文ページを開いた状態でも探究の過程全体を確認できるようになっている。 ・紙面の生徒キャラクターの対話によって、理科の見方や考え方を働かせていることに気がつけるよう工夫されている。 ・「ハローサイエンス」などのコラムを活用し、日常で見られる具体的な事象・現象と関連づけながら学習を進められるような工夫がされている。 ・「基礎技能」で、理科室のきまりや薬品の扱い方、応急処置等が記載されており、各実験操作の部分は黄色いマークで注意事項が示されている。 ・「二次元コード」から「まなびリンク」にアクセスでき、Webずかん、学習ツール、動画などICTを使用して学習を広げられるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全ページをウェブページ化することで、母国語が日本語以外の生徒に向けて、教科書の文面を多言語化している。 ・ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面と二次元コードを結びつける形で、紙面で伝えられなかった情報を提供している。 ・より多くの人々が識別しやすいように読みやすいUDフォントが採用されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市の高炉や横浜市の雷、横浜市の水質調査施設の写真が掲載されている。 ・身近にみられる理科に関わる写真が掲載されている。QRコード先のインターネット教材は、動画や基礎問題にアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の火力発電所・風力発電所や鎌倉市の踏切、川崎市の工業団地の写真が掲載されている。 ・「学習前の私」と「学習後の私」を設け、日常と関連づけ、自らの学習を深められるよう工夫されている。

<p>発行者の略称</p>	<p>啓林館</p>	
<p>書 名</p>	<p>未来へつながるサイエンス</p>	
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の把握、追究、解決を具体例で見える化し、探究の流れをイメージできるようにつくりになっている。 ・科学コラムの「部活ラボ」「深めるラボ」「お仕事ラボ」「お料理ラボ」等で、身のまわりの科学が生活とつながる話題が示されている。 ・領域ごとの特徴的な「理科の見方」で事象を捉え、探究の過程の中で比較や関連づけるなど「理科の考え方」をはたらかせるよう工夫している。 ・「実験を正しく安全に進めるために」では、中学校理科全般にわたって必要な注意点やスキルを丁寧に示し、実験で特に注意すべき点は「注意マーク」、安全に配慮すべき点は8種類の「安全マーク」で示されている。 ・紙面に「二次元コード」を掲載し、「協働的な学び」をサポートするシミュレーションや、動画・WEBリンク、「個別最適な学び」をサポートするCBT問題などのデジタル教材が用意されている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に1つある「探Q実習」で、探究の足場かけとなるヒントが示され、一連の探究の過程に沿って取り組めるよう配慮されている。 ・UDフォントが使用されている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三浦市、小田原市の露頭や横浜市の遊水地、港の写真が掲載されている。 ・各章の導入には、QRコンテンツ「?はてなスイッチ」があり、動画と紙面の写真で探究へ向けて興味を引き出す工夫がされている。 	

発行者の略称	教出	教芸
書 名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「Active!」では、学習指導要領で示されている〔共通事項〕を手がかりに、主体的・協働的な学習となるよう、教材と学習の進め方を提示する構成や配列となっている。 ・表現教材と鑑賞教材が、別々に掲載されており、相互のつながりが見開きで示され、見通しをもって学べる配列となっている。 ・日本各地の伝統芸能・祭りについて、写真入りで紹介し、その特徴・役割を解説することで、それぞれの表現の違いを考える学習が設定されている。 ・2・3年生上巻の巻頭「音楽はメッセージ」では、笙奏者から伝統文化との関わり方についてのメッセージが掲載され、我が国の伝統音楽に愛着が持てるよう工夫されている。 ・「リズムパターンをつくろう」では、基本のリズムを変化させ、違いを感じ取り、段階をおって学べるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのコンパス」では、学習指導要領で示されている〔共通事項〕を「注目するポイント」とし、学習の手順を示すことで、主体的・協働的に学習できるよう工夫されている。 ・表現教材と鑑賞教材は、関連のある同じ系統の曲を順番に掲載し、見通しをもって学べるよう配列されている。 ・諸民族の音楽の特徴やよさについて、考えを伝え合う学習が設定され、主体的に学習できるようキャラクターが学びをサポートするなどの工夫がされている。 ・中学生が伝統文化や祭りを体験する様子や、体験を通して感じたこと、学んだことが紹介され、我が国の伝統文化や祭りのよさに触れることができるよう工夫されている。 ・「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」では、リズムの組み合わせを工夫するポイントが記載され、生徒の思いや意図を生かすような工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、鑑賞、創作のページが、それぞれ基調となる色で分けて配色されており、各単元の構成がわかるよう配慮されている。 ・各教材では、精選した学習内容が記載され、楽譜や解説などが、見開き2ページの中に配置されており、学習の見通しをもって学ぶことができるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材では、学習内容が要点をまとめて記載されており、生徒が学習をスムーズに進められるような分量となっている。 ・各教材では、楽譜や解説などの情報の配置の仕方を工夫し、見やすく、スッキリとした紙面になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生上巻の「浜辺の歌」では、林古溪が幼少期を過ごした富士山の映る辻堂海岸の写真や解説が掲載され、生徒に親しみをもてるよう配慮されている。 ・「劇場・音楽堂へ行こう!」のコーナーで神奈川県立音楽堂が取り上げられており、本市の生徒も興味をもって学習できる内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「浜辺の歌」では、解説と江の島が映る辻堂海岸が掲載され、本市の生徒が親しみをもてるよう配慮されている。 ・「オーケストラの演奏」では、横浜シンフォニエッタの演奏写真、神奈川フィルハーモニーの方々の楽器紹介写真が掲載され、生徒にとって、オーケストラに対する関心を高めることにつながる。

発行者の略称	教出	教芸
書 名	中学音楽 音楽のおくりもの	中学生の音楽
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各教材では、学習指導要領に示されている[共通事項]をよりどころとした題材が提示され、生徒が見通しをもち、主体的・協働的に学ぶことができるよう工夫されている。 活動のポイントが明記されたり、各楽器の楽譜の運指が増えたり、学習を積み重ねていくことができるよう、各教材が系統的に配列されている。 「発展」では、様々な楽器を比較し、楽器の背景にある文化や伝統、楽器の構造について関連させながら学習できるよう工夫されている。 「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の特徴について個人で調べる表と、「話し合おう」でグループの意見をまとめる欄が掲載され、主体的・対話的な学びにつながるよう工夫されている。 「音のスケッチ」では、「基本形」と「オプションパート」があり、全体の構成を工夫しながら、即興的に旋律を創作できるような配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのコンパス」では、学習指導要領に示されている[共通事項]が記載され、生徒が課題意識をもって主体的・協働的に学習できるよう配慮されている。 楽器の奏法や基本的な技能を学習した後、巻末の楽曲において演奏実践ができるなど、学習を積み重ねていくことができるよう、各教材が系統的・発展的に配列されている。 和楽器の単元では、各地に伝わる郷土の祭りや芸能が紹介されるなど、身の回りの生活や社会と関連させながら学習ができるよう工夫されている。 「マイメロディー」では、キャラクターによる吹き出しなどで生徒の思考や判断を例示することにより、生徒の思いや意図を生かしながら主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がみられる。 曲の構成にあった音色を自分たちで考え、楽器を選択できるようなアンサンブル曲が掲載されており、多彩なジャンルの音楽に触れられるよう工夫されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な写真やキャラクターにより、分かりやすく整理されたデザインとなっており、演奏方法も丁寧に記載されている。 奏法に関する（構え方、押さえ方など）写真については、前方向からと横方向から2つの写真が記載され、演奏しやすいよう掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの写真や図版を用いて、演奏方法や楽器について記載されている。 各楽器の奏法について視点を変えた写真で示されている。また、奏法について、端的な文書で示されており、その後に具体が示されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 「名曲旋律集」では、幅広いジャンルの名曲を掲載し、音楽の多様性を感じとれるような工夫がされている。 一般の教科書における掲載曲との関わりをもたせた楽曲が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でも学習したことのある音楽が掲載されており、生徒が親しみを持てる楽曲が多く扱われている。 各楽器の冒頭ページでは、楽器の特徴や種類などが示され、生徒が興味をもてるよう工夫されている。

発行者の略称	開隆堂	光村
書 名	美術	美術
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年「物語だから動かしたい」で絵巻物・漫画・アニメーションを鑑賞し、さまざまな表現を見つけることができるよう工夫されている。 ・案内役のキャラクターを配置し、学びのポイントを示すことで、生徒の学習を効率よく展開できるよう工夫されている。 ・題材にあわせて「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」の掲載順が変わることで、学習の広がりや深まりが工夫できる構成となっている。 ・「作者のことば」を載せて制作意図や思いを示すことで、鑑賞活動等において、他者との意見交換を促す工夫がされている。また、キャラクターのことばが、学習の進め方のヒントやポイントとなっている。 ・図画工作と美術の違い、発展性について、わかりやすく提示し、学習意欲を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年「漫画表現を楽しむ」で作品ごとの表現の違いを探して考えることができる構成になっている。 ・「みんなの工夫」を設け、中学生が試行錯誤しながら作品制作する様子から、自分ならどのように表現するか、生徒自身の発想・構想を促すつくりになっている。 ・全ての題材において鑑賞と表現を一体的に学べる紙面構成となっており、適宜、「POINT」の吹き出しを入れ、生徒が造形的な視点を意識できるよう工夫されている。 ・作品と別のページに解説を掲載することで、生徒は作品に集中して鑑賞し、他者とも意見交換しやすい構成になっている。 ・図画工作との接続を意識したオリエンテーションのページが用意されている。社会科や国語科など、他教科と関連させて考えることができるようなつくりになっている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の質感を感じ取れる表紙、折り込みページを効果的に活用し、興味や関心が高まる構成となっている。 ・1年でのマークの制作が、2・3年のピクトグラムやポスターの学習につながるよう、デザインの学習など、配分が工夫されている。 ・巻末に「学びの資料」として知識の具体的な事項などが集約されており、生徒が必要に応じて学習内容を確認できるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真が大きく明るく鮮やかに掲載されている。学習のポイントがイラストや写真から吹き出しの形で読みやすく示されている。 ・1年で工夫した写真撮影を考えることで、2・3年での映像作品へとつながるようなつくりになっている。 ・別冊資料は画材や素材の説明から作り方、道具の説明がまとめられており、生徒が参照しながら進められるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で活用できるデジタルコンテンツや、導入に使える「はじめに」という動画が用意されている。 ・導入として神奈川県出身の岡本太郎の言葉や、ピクトグラムの題材として横須賀美術館が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「体感ミュージアム」など、デジタルコンテンツを利用して多角的な視点で鑑賞できる構成になっている。 ・神奈川県出身の岡本太郎を詳しく紹介している。県内の美術館にある作品が掲載されている。

発行者の略称	日 文	
書 名	美術	
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2・3年下「芸術としての漫画表現」で古い時代の漫画と現代の漫画を比較したり海外の漫画との表現の違いを考えたりすることができる構成となっている。 ・ 表現活動を後押しする発想・構想の手立てを配置し、「表現のヒント」を設置して表現題材すべてに発想・構想を促す工夫をしている。 ・ 題材ごとに「鑑賞の入り口、表現のヒント、造形的な視点」を提示し、生徒が学習内容を理解して、学習活動に向かえるよう配慮されている。 ・ アイデアを出し合う活動の例示があり、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるような工夫がされている。 ・ オリエンテーションで造形的な見方・考え方を示し、3年間の学習をイメージする工夫がある。また伝統の継承など、道徳と関連して学ぶことができる構成になっている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作家と生徒の作品を分けずに掲載することで、作品本来のよさを感じ取ることができる構成になっている。 ・ 1年で墨による表現の効果をとらえることで、2・3年で墨などの特性を生かして表現することにつながるようなつくりになっている。 ・ 巻末に「学びを支える資料」を設け、発想・構想する上での思考の過程や取り組み方などを例示し、制作の助けとなるよう工夫している。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒はQRコンテンツ「学びのはじめに」を活用し、何を学ぶ題材かを確認できるつくりになっている。 ・ 葛飾北斎「神奈川沖浪裏」や神奈川県出身の岡本太郎を詳しく扱い、地域の歴史や文化に関連した学びができるよう構成されている。 	

調 査 資 料

教科：保健体育

種目：保健体育 NO. 1

発行者の略称	東書	大日本
書 名	新編 新しい保健体育	中学校保健体育
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末スキルブックでは、実生活に即した生涯にわたって必要な健康、安全に関する20のスキルがまとめられており、適切な方法を理解することができる構成になっている。 ・各單元には、「活用する」や「広げる」が設定されており、習得した知識・技能を活用して深く考えたり、自分の生活に当てはめて考えたりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 ・細かいステップで発問が設けられており、思考力・判断力・表現力を働かせながら学習を進めることができるような配慮がされている。 ・「熱中症」は発展的な内容として見開きで取り上げられており、発症の要因やその予防などを複数の資料を用いて取り扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の学習が豊かな生活につながっていることを巻頭で掲載されている。 ・「学びを活かそう」では、その章で学習したことをより深く理解するための課題を示し、学んだことを生かして取り組める工夫がされている。 ・小單元ごとに「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」が設定されており、学習を重ねることで思考力・判断力・表現力が身につくようなつくりとなっている。 ・発展的な学習内容として「熱中症予防と応急手当」が扱われ、熱中症の疑いがある際の対応のチャート図が示されている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの紙面構成が左側本文、右側資料となっており、学習の流れがつかみやすい構成となっている為、見通しをもって学習ができるようなつくりになっている。 ・犯罪被害の危険を予測する際、立体的に見える資料が掲載されており、生徒が視覚的に理解しやすくなるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き構成を生かし、確実に身につけたい学習内容は左ページの本文にまとめ右ページには、本文に対応した理由・資料を配置し、本文を裏付け、知識を深めることができるよう構成されている。 ・心肺蘇生法の手順の折り込みが採用されており、教科書を広げて、実習の流れ全体を確認しながら学習を進めることができるような工夫がされている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を補完するためのQRコンテンツが掲載されており、生徒の理解度を高め、学習を深めることができるような構成になっている。 ・住んでいる地域のハザードマップから、気象災害時の危険や避難場所、避難経路を調べ、自分の防災タイムラインを作ることができる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、デジタルコンテンツが設けられており、補助資料映像やまとめ問題が掲載されている。 ・自然災害に対する備えと共に、命を守るためにどのように行動すればよいかについての記述が記載されている。

調 査 資 料

教科：保健体育

種目：保健体育 NO. 2

発行者の略称	大修館	G a k k e n
書 名	最新 中学校保健体育	新・中学保健体育
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵で運動やスポーツの経験が生涯にわたってスポーツを実践するための土台となり、将来の生活を豊かなものにつながるといったイメージを持つづくりとなっている。心身の健康を保持増進させるためのスキルを習得できるようなづくりになっている。 ・「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という学習の流れが示されているため、見通しをもって学習に取り組むことができるづくりとなっており、学んだことを生かし、深められるよう工夫されている。 ・「コラム」や「事例」が豊富に掲載されており、生活に関連した内容を学ぶことで、知識を実生活に生かせるような工夫がされている。 ・発展的な学習内容として、特集資料「熱中症の予防と応急手当」が設定され、熱中症対応フローを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよく生きる・よりよく生きる世界をつくる」では、保健体育で学ぶことを踏まえながら幸せだと感じた体験を集めていくことが提案されており、ウェルビーイングについての理解が進むようなづくりになっている。 ・1単位時間を「ウォームアップ→エクササイズ→学びを生かす」という流れで学習を進めることで、生徒自ら学びを工夫しながら進めていくことができるようなづくりとなっており、課題を解決する学習過程を身に付けられる構成となっている。 ・「エクササイズ」は、学習の課題に関連した課題に取り組むことができる内容となっており、学習した知識や情報を基に考える活動が設定されている。 ・発展的な学習内容として、「熱中症を疑った時の対応」が設けられ、チェックに従って対応を考えられるようになっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての章のとびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」が明示されており、系統性をもって学習することができるようなづくりとなっている。 ・見開きを1単位時間で構成し、見通しをもって学習できるような配慮となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間見開き2ページを基本構成としており、見通しをもって学習できるような配慮となっている。 ・生徒と共に学習を進めていくキャラクターが設定されており、随所に問いを投げかけたり要点についてまとめたりするなどして、生徒の学びを深める手助けをするような配慮がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの右下にQRコードが記載されており、その単元の「保体クイズにトライ!」に取り組むことができるなど、デジタル教材を効果的に活用できるような工夫がなされている。 ・自然災害から命を守るための行動の仕方や、情報の活用方法が充実しており、防災意識を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから、各章に関する動画コンテンツを確認することができ、生徒自身が必要なものを判断して組み合わせながら、より広く深く学ぶことができる工夫がされている。 ・防災について危険を予測して回避することを重視した学習教材が設定されており、自然災害から身を守るための行動についても詳しく掲載されている。

調査資料

教科：技術・家庭

種目：技術分野 NO. 1

発行者の略称	東書	教図
書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各節に「学習課題」を示すことで見開きで何を学習するかを明確にし、「始めの活動」「まとめの活動」を設け、生徒が主体的に取り組むことができるような構成になっている。 生活の中で起きうる問題を生徒が発見し、課題として設定できるよう動機づけとなる漫画を各節で掲載している。 「最適化の窓」や技術の見方・考え方に関連する「マーク」が随所に用意されているため、課題解決が意識しやすい作りになっている。 材料の「切断」の動画コンテンツでは、生徒の目線で撮影されていたり、左利きの切断場面が確認できるようにしたりするなどの個に応じた学習につなげる工夫がされている。 「作業を楽しく安全に進めよう」を設け、安全な作業の例を示している。ヒヤリ・ハット体験の資料も掲載されており、重大な事故が起きないような配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各節に「見つける→学ぶ→振り返る」という学習の流れを示し、身近な問題と知識を結びつけ、それを設計・計画にいかせるような構成になっている。 「未来をつくろう」では、社会の課題を自らの課題にするためにプラス面とマイナス面を掲載し、主体的に問題を発見させる工夫をしている。 生徒にとって身近なものを例として挙げ、技術における見方・考え方を働かせた課題解決に取り組めるよう工夫されている。 別冊スキルアシストにおいて、動画コンテンツがあり、道具の持ち方や動作の確認ができるようになっている。また、持ち運びできるよう薄い冊子となっている。 「3つの心得」として安全について、授業場面を例に基本事項をわかりやすくなるよう示している。各学習場面においても注意が必要な事項に目立つマークが用いられている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> 書体はUDフォントを使用するとともに配色とデザインにも配慮し、生徒にとって認識しやすいものとなっている。 教育漢字以外にはふり仮名があり、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体が用いられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用書体はUD書体を使用し、カラーバリアフリーの観点から色のみでしか判断できない表現は避け、文字や模様、記号で識別できるよう配慮されている。 学習漢字以外にはふり仮名を付け、多様な生徒が平等に学べるように配慮されている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 蒸気機関車やスマートシティは横浜市、「技術の匠」の「はやぶさ2」は相模原市が掲載され、身近な地域が確認できるつくりになっている。 本市で生育している乳牛やブタ、ニワトリのライフサイクルが掲載されているなど、本市の産業に関わる内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統工芸である寄木細工では、箱根町、太陽光パネルでは川崎市など、周辺地域を取り上げている。 本市でも栽培されているトマトや小松菜の栽培方法について掲載されているため、本市の産業と照らし合わせて考えることができる内容となっている。

<p>発行者の略称</p>	<p>開隆堂</p>	
<p>書名</p>	<p>技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて</p>	
<p>編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各節に「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という学習の流れがあり、知識技能を習得し、それを働かせ、概念を深めていくような構成になっている。 ・「技術分野の学習の流れ」では、問題解決能力が高まるよう、四コマ漫画を横に並列し、流れに沿って問題を発見し、課題を設定できるような工夫がされている。 ・「ガイダンス」では、冷蔵庫を例に挙げ、技術の見方・考え方について、視点をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ・二次元コードが全体を通して配置されており、自学自習が行えるワークシートや資料が確認できるようになっている。 ・「作業の安全」など安全に特化したページや安全のマークがあり、生徒自ら事故防止に取り組めるようなイラストで作業場を想定した配慮がされている。 	
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントを使用している。文の行末を、極力単語の途中で改行しないように調節されている。また、色によって受ける情報に差が出ないようにつくりになっている。 ・文書と図版のバランスを取り、随所で文字の太さをかえ、見やすくなるよう工夫されている。 	
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンジーの主産地（神奈川県）や11階建ての木造建築ビル（横浜市）など周辺地域に関わることが取り上げられている。 ・生物育成の技術では作物だけでなく、水産物や動物の飼育に関しても8ページにわたり紹介され、本市の産業と照らし合わせて学習ができる内容となっている。 	

発行者の略称	東 書	教 図
書 名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」では、課題の決め方、計画の立て方、実践等が示されており、生活に始まり、生活に返す学習の流れで課題を解決する道筋が見える構成となっている。 ・小学校で学習した内容を各編の導入で示すなど、小学校との系統性、他教科との横断的な学習につながるよう工夫されている。 ・巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう」を設け、実習の注意事項をまとめて示したり、ページに「安全マーク」や「衛生マーク」をつけたりするなど、安全面・衛生面を意識できるよう配慮されている。 ・「災害への対策」では、住まいの地震対策等、日常生活での備えを学ぶ内容について、イラストを使うことで災害にあった生徒に配慮できるような構成となっている。 ・雑煮文化圏マップに角もち丸もち分岐ラインが示されているほか、「和食」や「日本の衣服の文化」など、日本の伝統文化を実感できるよう「伝統文化マーク」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップで統一され、課題解決学習の流れで構成されている。 ・生徒が見通しをもった学習ができるよう、領域ごとに小学校の学習との繋がりと中学校等での学びを「関連」マークで示している。 ・巻頭の「実習は安全に取り組もう！」では、実習時や調理における食中毒予防など、注意点が掲載されているほか、「安全」・「衛生」のマークをつけて安全に取り組めるよう工夫されている。 ・「災害に備えた安全な住まい方を考えよう」では、非常用持ち出し袋の中に入れるものについて、詰め方の工夫がイラストとチェック項目とともに掲載され、日常生活に生かせる内容となっている。 ・だしの材料の例や地域の伝統的な器が掲載されているほか、「伝統文化」のマークを配置することで、日本の伝統文化を考えることができるような内容となっている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストに登場する男女の比率や役割に配慮するとともに、服装や外国籍の生徒など、多様な生徒の姿を示している。 ・カラーバリアフリーの観点を取り入れ、誰もが見やすいような配色の構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性別や人種、年齢や障がいの有無などに関わらず、協力・協働していくことができるよう、イラストや写真等工夫されている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮して、誰もが見やすいような配色の構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマークを示した教材では、学習に関連するQRコンテンツを用意し、実習の手順を確認する等、個に応じた学習が進められるよう工夫されている。 ・地域の食材として神奈川県三浦大根が紹介されているほか、横浜市の防災訓練の写真が取り上げられ、本市の生徒が身近に感じるような内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード先の栄養計算のコンテンツでは食事を選ぶと自動的に栄養計算され、限られた時間の中で学習する生徒にとって学びやすくまとめられている。 ・神奈川県「かながわブランド」マーク、本市の郷土料理の紹介では「しらす丼」がそれぞれ紹介されており、本市の生徒にとって地域を知るための手がかりとなっている。

発行者の略称	開隆堂	
書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の課題と実践」の進め方では、生活を見つめて課題設定をするところから、実行・実践、ふり返り・評価によって、自分ごととして課題解決に取り組むことができるつくりになっている。 ・「他教科」や「小学校」のマークを配置することで、小学校の学習をふり返り、他教科との関連について、考えられるよう工夫されている。 ・「楽しく安全に実習しよう」では、実習時の安全、衛生面についてQ & Aで具体的に解説しているほか、「安全」・「衛生」のマークで安全に実習するよう工夫されている。 ・「わたしたちの防災」として、8ページにわたって掲載し、過去の災害から学び、生活を見直し、改善していくことができるよう工夫されている。 ・和食と洋食それぞれの食文化の違いを学び、改めて日本の食文化のよさを知ることができる内容となっている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・イラストは、男女の平等、高齢者や障がいのある人、外国籍の人などに配慮がなされている。 ・カラーユニバーサルデザインの視点からデザイン・配色することで、できるだけ多くの生徒が見やすくなるよう配慮されている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・QR資料として、幼児の成長の様子や調理・製作実習等、学習場面で効果的に活用できる動画が掲載されており、学びを深めることができるような工夫がされている。 ・地域の郷土料理として「けんちん汁」が掲載されている。「地域の取り組みガイド」では、川崎市の企業が紹介され、地域理解を深め、自立と共生を目指せるようまとめられている。 	

発行者の略称	東書	開隆堂
書 名	NEW HORIZON English Course	Sunshine English Course
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末活動を重視した作りとなっており、各 Unit の最後には4技能5領域に渡って、そのUnitのトピックについて相手に伝えられるよう、活動が工夫されている。 ・聞く→読む→表現練習→Activityを基本的な構成とし、Unit Activityにおいて様々な方法で自己表現活動ができるよう設定されている。 ・題材や人物の出身国をできるだけ多様な世界の国々から設定しているので、ダイバーシティを意識しやすい構成となっている。また、ダイバーシティメモという欄を設け、多様性への気づきを促す工夫が見られる。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。音読練習をする機能が豊富で、個に応じて練習することができる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Programを複数終えたあとにパフォーマンス活動 Our Project を設けており、そこまでのProgramで培った力を統合的に使えるよう工夫されている。 ・聞く→話す・書くで、新出表現の導入→読む→Review & Retell→自己表現を基本構成としている。 ・様々な国を各 Program で扱うとともに、他国の自然や動物、環境、平和、人権、共生などに関わる話題にも触れ、多角的に他文化についても考えられるような配慮がされている。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。Listeningや単語チェックなど、各自で練習ができる構成になっている。Our Projectの発表の見本動画を見ることができる。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版 ・紙面上の要素のデザインや配置が統一されており、生徒が学習の流れを見通すことで、安心して学習に取り組めるような配慮がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版 ・親しみやすいマンガを取り入れたり、題材に関連した写真を多用したりすることで、視覚的にイメージしやすい工夫がなされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・文構造、文法を知識としてだけではなく、活用できるコミュニケーションの力として育成されるような構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各プログラムに small talk のコーナーがたくさんあり、繰り返し行っていくことで、即興でのやり取りや表現する力が身につくような工夫がされている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所のポップアップ画面から、音声を聞いたり、行間を広くしたりして文字を書き込む機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文と同じ画面に操作ボタンがあり、文字を書き込んだり、タイマーを使ったりする機能がある。アイコンから別ページに飛び、音声を再生できる。

発行者の略称	三省堂	教出
書 名	NEW CROWN English Series	ONE WORLD English Course
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>教科・種目別の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼすべてのレッスンに Small Talk Plus があり、既習事項を生かして相手と意見を交わすことで、より深いコミュニケーションが図れるよう工夫されている。 ・概要を聞く→練習で聞く・話す→読む→話す・書くの組み合わせを基本的な構成とし、Goal Activity で読んだことを話したり書いたりする活動をレッスンのまとめとしている。 ・英語圏に限らず様々な国を取りあげ、人権や環境、平和などを題材にすることで、多角的に国際理解を深められるよう工夫されている。 ・二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。発音確認や英和辞典など生徒の学びを深める機能が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の冒頭に内容理解の目標や活動の目標をそれぞれ示すことで、生徒自身が見通しをもって学ぶことができるようになっている。 ・読む→基礎練習→聞く→応用練習→目的に沿った読みを行い、Task で自己表現、やり取りの練習をまとめの活動とする構成になっている。また、Project で統合的な発表ができるようになっている。 ・生徒に身近な世界の行事や、世界で活躍する日本人を読み物に入れることによって、どの生徒にとっても身近に世界が感じられるよう工夫されている。 ・二次元コードを活用する際、まなびリンクを通して、ワークシートや活動用動画を使い、個別最適な学びにつなげられる工夫がされている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 4 版 ・見開き構成で教材の配列もパターン化されおり、学習に集中できるような配慮がなされ、学習内容が明確になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B 版 ・思考力、判断力、表現力を育成する言語活動の時間を考慮できるような学習内容の構成になっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・習ったばかりの表現について、ペアの相手を変えながら即興で話したり書いたりして、やりとりをする場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で考え、表現する活動を積み重ね、思考力、判断力、表現力を段階的に養うことで、実際のコミュニケーションに生かせる英語力が身につけられるような構成になっている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・該当箇所のポップアップ画面から音声を聞いたり、行間を広くしたりして文字を書き込む機能がある。本文や文法解説の動画に直接アクセスし、再生できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーディングのアイコンをタッチすると、本文が拡大され、カラオケ表示やスラッシュ、録音など様々な方法で音読練習ができる機能がついている。

発行者の略称	光村	啓林館
書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE	BLUE SKY English Course
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 教科・種目別の観点	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の目標を明記し、Unit ごとにインプット、アウトプットを繰り返す中でコミュニケーション能力の確実な定着を図ることができるような構成になっている。 多くの Unit で、全体を聞く→読む→聞く練習→話す→書くを行った後、目的・場面・状況が設定された Goal の活動でまとめが行えるような構成となっている。 World Tour のページでは、実写映像を用いて、世界の中学生を取り扱ったり多様な文化や価値観を学ぶ場面を設けたりすることで、生徒がより身近に国際交流について考えられるよう工夫されている。 二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。各 Unit の冒頭で実写ドラマを視聴することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各 Unit の見開きに目的・場面・状況に応じた言語活動が 4 技能 5 領域に渡って掲載されており、バランスよくコミュニケーション力をつけられるよう工夫されている。 テーマについて聞く→読む→聞く・話す・書く練習→自己表現を基本的な構成とし、Part のあとに 4 技能を組み合わせた統合的な活動が設定されている。 各 Unit では 1 つの国を扱うだけではなく、テーマで国ごとを比べることで、生徒がそれぞれの国の文化や背景の違いについても考えやすいような工夫がされている。 二次元コードを活用する際、動画、文字、速度調整機能がある。Target の解説動画や本文を画面に表示し、音声を聞くことができる。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> A B 版 帯教材や巻末付録が充実しており、生徒が使いやすいように学び方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A 4 版 効果的にイラストや写真を掲載することで、生徒が学習しやすいような工夫がされている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> 帯教材の Let's Talk! や Story Retelling に継続的に取り組むことで、即興力や自分の言葉で話す力が身につくようなつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 即興的なやり取りや自己表現を行う題材を設定し、アウトプットの練習を集中的に養えるようなコーナーが設けられている。
デジタル教科書	<ul style="list-style-type: none"> 画面左下の「きく」ボタンを押し、画面の文をタッチするとその音声流れる。また、指定の文のみを再生、速さの調整、文と文との間隔などを指定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お道具箱」に二次元コードやタイマーなどのツールがある。また、アニメーションやスライドショーの映像の音声の再生速度や位置を自由に変えることができる。

発行者の略称	東書	教出
書 名	新編 新しい道徳	中学道徳 とびだそう未来へ
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>「特別の教科道徳」に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」で、自身の心をみつめ、人間としての生き方を考えられるよう道徳科で学ぶことと学び方を示している。 ・各教材の最後に、中心発問となる「考えよう」、教材から離れて自分を振り返る「見つめよう」、そして2つの設問をさらに深める「ぐっと深める」が設定されている。 ・教材文の一場面を役割演技する学習があり、学習したことを広げたり深めたりできるよう工夫されている。 ・巻末の付録には、環境や地球温暖化など、現代的な課題について考える教材がある。また、各付録はSDGsと関連する教材として設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さあ、道徳を始めよう！」で、活発に深く話し合うためのポイントが明記されており、人間としてよりよい生き方について考えられるようになっている。 ・教材末の3つの発問を活用することで、道徳的価値についての問い、多面的・多角的に考える問い、自己を振り返り考えを深める問いの順番で示され、段階的に深められるような構成となっている。 ・ロールプレイなど演劇的な要素を取り入れた体験的な活動を設定することで学びを深める工夫をしている。 ・「持続的な社会の創り手」となる意識を高められるよう、複数教材とコラムからなるユニットを設定し、現代的な課題を考え、学びをより深められる工夫がある。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判サイズで、各教材が考え議論する1時間となるよう、学習のテーマ・つぶやき・考えよう・みつめようで構成されている。 ・道徳科で学習する4つの視点マークの1つが示されており、内容項目が理解できるよう示されている。また、教材に関係する漫画の一コマが提示されている教材もあり、わかりやすいつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B 5判で扱いやすく、ほとんど教材が見開きで書かれており、内容が把握しやすいよう短めの教材を掲載している。 ・すべての教材に道徳科で学習する4つのアイコンが記載されて、学習テーマを意識しやすくなるよう示されている。また、学習の見通しをもちやすいよう、内容項目が問いとなって記載されている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材に二次元コードがついており、興味・関心を喚起する資料や映像、朗読音声など用意されている。 ・2年生では、本市にゆかりのある杉原千畝を題材にした教材が掲載されており、国際理解や人権について学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから教材解説や動画、外部リンクなどのデジタルコンテンツにアクセスすることができる。 ・学年間の学習の繋がりが意識されており、小学校から中学校、中学3年間とスムーズな接続を意識した学習活動が配置されている。

発行者の略称	光村	日文
書 名	中学道徳 きみがいちばんひかるとき	中学道徳 あすを生きる
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との関連 内容・構成 「特別の教科道徳」に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の学習を始めよう」で、道徳科を学ぶ心構えをつくれるよう三つのポイントを示すほか、学習テーマとの関連や道徳での学びの過程が丁寧に解説されていて、学習の見通しをもちやすいつくりとなっている。 ・題材の前に学びのキーワードを示すとともに、教材末に付随する問いが2つある。さらに「見方を変えて」や「つなげよう」といったトピックがあり、より深く主題に迫ることができるよう工夫されている。 ・「演じて考えよう」や「考えよう」などが設けられ、道徳の学びと生徒の生活のつながりを意識し、考えを深めることができるつくりになっている。 ・SNSや人工知能など、現代的な問題解決的内容が掲載されている。また、教材の巻末には教材別テーマ一覧が掲載されていて、各教材とキーワードとの関連を確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科での学びを始めよう！」で、対話的な学びについてマンガ形式で示されており、道徳の学習の進め方について理解しやすい構成となっている。 ・教材の最後に「考えてみよう」、「自分にプラスワン」が設けられていることで、各教材に登場する人物や出来事について、自分ごととして捉えて考えられるよう工夫されている。 ・道徳的な問題について対話しながら学ぶことで、考えや議論がより深まるよう工夫されている。 ・情報モラルやI P S細胞など、現代的な課題について考えられるようになっている。また、巻末にある教材一覧には、各教材と内容項目等との関連がわかりやすく示されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判変型判で、目次ではテーマをもったユニット別に構成されていることが一目でわかるよう配慮がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトル冒頭に記載されているとともに、よりよい生き方を学ぶ「道徳で学ぶ22のキーワード」が示されていて、学習内容がわかりやすく提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B5判サイズとなっており、分量をおさえるほか、目次で色別にユニットを示して見やすくなるよう工夫されている。 ・4つの視点マークの1つが内容項目とともにタイトル右側に提示されている。また、作者の教材に込めた思いや考えを明日へのメッセージで知ることによって、道徳的価値に向き合いやすいつくりになっている。
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードには朗読の音声の流れるコンテンツのほか、関連資料を閲覧できるよう工夫されている。 ・付録の「まなびの道具箱」では、自分の考えを広げたり分類整理したりするのに役立つ思考ツールが何点か紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教材とコラムにデジタルコンテンツがあり、生徒が興味・関心をもてるよう工夫されている。 ・別冊ノートは1教材につき1ページで構成されており、発問部分は空欄で、自由に考え等を書き込むことができる。

発行者の略称	Gakken	あか図
書 名	新版 中学生の道徳 明日への扉	中学生の道徳
<p>編修の趣旨と工夫</p> <p>学習指導要領との関連</p> <p>内容・構成</p> <p>「特別の教科道徳」に係る観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科で学ぶこと 考えること」では道徳を学ぶ目的がイラストとともに示され、「考えを深める4つのステップ」に沿った授業の流れを提示している。 ・教材の最後に設定された「クローズアップ」や「深めよう」は、多面的・多角的に考える機会となっており、学習内容を自分ごととして捉えたり多様な意見に触れたりできるつくりとなっている。 ・自分の生き方に向き合うきっかけとなる発問が、教材の最後に「考えよう」として2つ提示されている。 ・3年間を通して「SDGs・多様性・キャリア」がユニット学習として設定され、内容が異なる複数の教材を連続して学ぶことで、テーマについて考えを深めることができるつくりになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の見開きで、各学年の発達段階に応じた学習について記載があり、1年間で学ぶ内容の見通しをもつことができるつくりになっている。 ・各教材の発問は3つに整理されている。特に3つ目として設けられている「自分との対話」では、教材での学びを踏まえて、自分自身や道徳的価値についてより深められるような発問が用意されている。 ・「マイ・プラス」では、生徒が様々な立場から多面的・多角的に考えられるようなつくりになっている。 ・SNS、いじめなど、現代的な課題に関連する教材が取り上げられている。また、道徳的な価値に照らして考えられるようまとめられている。
<p>分量・装丁・表記等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判で、全ての教材が見開きから始まっている。また、視覚情報によって教材ごとのページ数が分かるような工夫がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトルの上に提示されている。また、タイトル下にキーフレーズや関連する学びを示すマークが記載されていて、授業へのスムーズな導入を促す工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B 5判で、各教材が見開きで書かれており、内容を捉えやすくする工夫がされている。 ・4つの視点マークの1つが教材タイトルの上に提示されているほか、物語形式の教材には、登場人物挿絵形式で1ページ下段にまとめられており、視覚的に捉えやすいような構成になっている。
<p>本市の生徒の実態や地域等の特性との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学研教科書サイトでは、教材に関する動画や音声などから、学びがより充実するよう工夫されている。 ・野口聡一や、杉原千畝、渡部成俊など、神奈川県にゆかりのある人物を扱う教材が多く、興味・関心をもって学べるよう構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードのある教材には、動画を中心に教材を理解しやすくする資料が用意されている。 ・野口聡一を扱う教材から、身近なところから宇宙飛行士が誕生した点で生徒が親しみをもって学習に取り組める。

発行者の略称	日科	
書 名	道徳 中学校 生き方	
編修の趣旨と工夫 学習指導要領との 関連 内容・構成 「特別の教科道徳」 に係る観点	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのみならず「道徳授業」を創り出そうと、授業の進め方が示されているほか、短い読み物教材が掲載されており、学習の動機づけとなるよう工夫されている。 ・各教材の最後に「①考えよう」「②深めよう」という発問がそれぞれ示され、道徳的価値を多面的・多角的に考え、深められるよう構成されている。 ・より具体的にするために、4コマ漫画の扉を配置するなど、各視点に関わって考えを広げられるよう工夫されている。 ・情報モラルの問題や、生命尊重、環境問題、SDGsなど、問題解決的な学習につながる現代的な課題を数多く取り上げている。 	
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判サイズ紙面にすることで、生徒が読みやすいよう配慮されている。 ・道徳科で学習する4つの視点ごとに教材がまとまっている。また、生徒自身が内容項目に基づき、自分たちのよりよい在り方を主体的に考え、探究することができるような工夫がされている。 	
本市の生徒の実態や地域等の特性との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・教材に関連する資料動画や、教材をより深く理解するための関連資料へのページリンクが提示されている。 ・巻末付録のウェルビーイングカードを活用することで、カードをきっかけに論点を明確にした議論ができるようになっている。 	

令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会調査員一覧

教科	種目	氏名	所属	氏名	所属	人数
国語	国語	佐藤 健太	大清水中	手島 淑子	第一中	4
		中田 真由美	鵜沼中	松永 実紅	明治中	
	書写	東海林 元	善行中	山本 陽介	滝の沢中	3
		荒川 翔	秋葉台中			
社会	社会 (地理的分野)	服部 和人	羽鳥中	有留 志保	秋葉台中	4
		長島 瞳	高倉中	若林 拓弥	明治中	
	社会 (歴史的分野)	宇田川 慎一	大庭中	中村 雄伴	湘南台中	4
		浅井 めぐみ	村岡中	巨海 亮二	滝の沢中	
	社会 (公民的分野)	黒田 洋平	藤ヶ岡中	宇梶 正章	片瀬中	4
		兼岡 里衣	高浜中	木戸岡 直史	六会中	
	地図	田畑 颯太	大庭中	橋本 和樹	藤ヶ岡中	3
		伊豆原 かおり	村岡中			
数学	数学	桃原 享祐	羽鳥中	村田 真美	鵜沼中	4
		濱本 英樹	高浜中	杉山 賢太郎	湘洋中	
理科	理科	成川 玲也	御所見中	池田 太理	第一中	4
		小原 元樹	高倉中	大野 寛子	六会中	
音楽	音楽(一般)	寺島 達空馬	鵜沼中	池上 喬之	明治中	4
	音楽(器楽)	引間 さやか	第一中	中村 賢作	六会中	
美術	美術	赤木 明子	藤ヶ岡中	永井 博	滝の沢中	3
		関 藍	高倉中			
保健体育	保体	大竹 春美	大清水中	清川 裕也	長後中	3
		東原 千浩	湘南台中			
技術・家庭	技術・家庭 (技術分野)	近藤 暢一	村岡中	市丸 祐介	湘南台中	3
		山田 幸太朗	羽鳥中			
	技術・家庭 (家庭分野)	飯田 祐里	湘洋中	三浦 利絵	六会中	3
		鈴木 楓	第一中			
外国語	英語	内田 万起子	湘洋中	渡部 奏華	滝の沢中	4
		秋田 祐希	善行中	池谷 陽子	片瀬中	
道徳	道徳	公文 真奈	大庭中	足達 航	鵜沼中	4
		石井 正宏	御所見中	川寄 康弘	長後中	